

国 語

科目名	単位数	学科	学年
論理国語	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	論理国語（大修館書店）	副教材	カラー版 新国語便覧（第一学習社）
-----	-------------	-----	-------------------

科目の目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	評論Ⅰ 「世界を広げる『批評』の言葉」 評論Ⅱ 「人を指す言葉」 評論Ⅲ 「多数決を疑う」	文章中の話題と主張を意識しながら読解する力を養う。
2 学期	評論Ⅳ 「生物多様性の恩恵」 評論Ⅴ 「無常ということ」 評論Ⅵ 「自己をモデル化する知能」 評論Ⅶ 『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ 評論Ⅷ 「記号的メディアと物理的メディア」 評論Ⅷ 「リスク社会としての現代」	筆者の主張と論理の展開を適切に把握する力を養う。
3 学期	評論Ⅹ 「日本文化三つの時間」	筆者の論理を捉え、論理の背景を捉える力を養う。

備 考 <small>（学習のポイント）</small>	<p>1 復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。</p> <p>2 国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。</p> <p>3 知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。</p>
---------------------------------	---

評価規準	知識・技能	実社会に出て必要となる国語の語彙や文法的な知識などを身に付け、情報を論理的に分析できる。
	思考・判断・表現	論理的、批判的に考え、より論理的な表現を検討することができる。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを論理的に展開し、明快に主張を述べるができる。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	<p>学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。</p> <p>○ 定期考査 … Ⅰ・Ⅱ の観点</p> <p>○ ノート内容 … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業成果物（レポート、感想文、提出物等） … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業態度（真面目な態度、積極的な取組） … Ⅲ の観点</p>
------	---

国 語

科目名	単位数	学 科	学 年
文学国語	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	文学国語（第一学習社）	副教材	カラー版 新国語便覧（第一学習社）
-----	-------------	-----	-------------------

科目の目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	近代の小説Ⅰ 「葉桜と魔笛」 戦争と文学 「夏の花」 創作Ⅰ 詩の創作と鑑賞	多角的な視点から文章を 読解し、作品の多様な価値 を捉える力を磨く。
2 学 期	近代の小説Ⅱ 「檸檬」 近代の小説Ⅲ 「舞姫」 創作Ⅱ 物語の創作と鑑賞	作品や作者の背景をふま えて作品を鑑賞する力を磨 き、創造性を養う。
3 学 期	表現 朗読劇 「舞姫」	表現を通して作品を解釈 し、深く読解する力を養う。

備 考  <small>学習のポイント</small>	<p>1 復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。</p> <p>2 国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。</p> <p>3 知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。</p>
--------------------------------------	---

評 価 規 準	知識・技能	文学の価値に気づき、多様な表現の価値を理解した上で、生涯の社会生活に必要な国語の語彙や文法的な知識を身に付けている。
	思考・判断・表現	多角的な視点から考え、他者との関わりの中で自分の感性を磨き、自分の意見と他者の意見の相違を俯瞰した上で、効果的に自分の意見や想いを伝え合うことができる。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしている。

定 期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	<p>学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。</p> <p>○ 定期考査 … Ⅰ・Ⅱ の観点</p> <p>○ ノート内容 … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業成果物（レポート、感想文、提出物等） … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業態度（真面目な態度、積極的な取組） … Ⅲ の観点</p>
---------	---

国 語

科目名	単位数	学 科	学 年
国語表現	3単位	普通科 (Ⅱ型)	3年

教科書	国語表現 (大修館書店)	副教材	最新国語便覧 (浜島書店)
-----	--------------	-----	---------------

科目の目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	<p>言葉と出会う 「整った文を書く」「わかりやすい文を書く」 小論文・レポート入門 「小論文とは何か」「反論を想定して書く」 「文章を読み取って書く」 「発想を広げて書く」</p> <p>新しい視点 「思い込みの危険性」「物語を発現する力」 自己PRと面接 「自分を見つめて」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた言葉の使い方を学び、適切な表現を身に付ける。</li> <li>・小論文の展開を考え、説得力のある文章を書く。</li> </ul>
2 学 期	<p>自己PRと面接 「志望理由をまとめよう」 「面接にチャレンジ」</p> <p>メディアを駆使する 「電話を使いこなす」 「通信文を書き分ける」</p> <p>表現の実践 「意見を述べる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の過去を見つめ、将来に向けての展望を持つ。</li> <li>・情報収集や他者との意見交換を通して、多様な視点から物事を捉える力を身に付ける。</li> </ul>
3 学 期	<p>声とコミュニケーション 「言葉のストレッチ体操」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との対話を見直し、伝え合う力を高める。</li> </ul>
備 考 (学習のポイント)	<p>1 自分の進路の実現に向けて、入試対策に必要な知識・技術を身に付けよう。</p> <p>2 小論文の構成や展開を考え、説得力のある文章を書こう。</p> <p>3 他者との対話をとおして、客観的な視点に気づき、自分の表現方法を見直そう。</p> <p>4 情報の収集、分析に努め、自身の考えをまとめたり深めたりしよう。</p>	

評 価 規 準	知識・技能	言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉の特徴や役割を踏まえ、適切な表現や言葉遣いを使い分けられているか。
	思考・判断・表現	適切な根拠を用いることや、視点や論点を明確にしながら自身の考えを述べるなど、表現の仕方を工夫できているか。
	主体的に学習に取り組む態度	正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしているか。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定		○		○	○

評 価 方 法	<p>学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。</p> <p>○ 定期考査 … Ⅰ・Ⅱ の観点</p> <p>○ ノート内容 … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業成果物 (レポート、感想文、提出物等) … Ⅱ・Ⅲ の観点</p> <p>○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な取組) … Ⅲ の観点</p>
---------	---

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
地理探究	2単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	副教材	新編地理資料(東京法令出版)
-----	------------------------------	-----	----------------

科目の目標	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際社会に主体的に生きる資質・能力を養う。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	交通・通信と観光、貿易 1 交通・通信 2 観光 3 貿易と経済圏 人口、村落・都市 1 人口 2 人口問題 3 村落と都市 4 都市・居住問題 生活文化、民族・宗教 1 衣食住 2 民族・宗教と民族問題 3 国家の領域と領土問題 現代世界の地域区分 1 地域区分 現代世界の諸地域 序 地域の考察方法 1 中国	・交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組について理解する。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究する。 ・民族・宗教に関わる課題について考察する。
2 学期	2 韓国 3 ASEAN諸国 4 インド 5 西アジアと中央アジア 6 北アフリカとサハラ以南アフリカ 7 EU諸国 8 ロシア 9 アメリカ合衆国 10 ラテンアメリカ 11 オーストラリアとニュージーランド 持続可能な国土像の探究 1 将来の国土の在り方	・世界の諸地域にみられる地域的特色や課題について理解する。 ・諸地域の結びつきや変容を地誌的に考察し、表現する。
3 学期	2 持続可能な日本の国土像の探究	・持続可能な社会を目指すために、望ましい国土の在り方について追究する。
備 考 (学習のポイント)	1 学習プリントはきちんと書き込み、積極的にメモ書きをしよう。 2 家庭学習では、教科書・資料によく目を通して、学習の復習をしよう。 3 地名などは地図帳を利用して、しっかりその位置を確認しよう。 4 社会の動きに注目し、学習内容と世界の動向とを結びつけて考えよう。	

評価 規 準	知識・技能	世界の生活文化の多様性や、地理的課題を理解しているとともに、調査や資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地理的な課題の解決に向けて考察したことを、効果的に説明できる。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、地理に関わる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

定期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施 予 定	○	○	○	○	○

評価 方 法	定期考査、学習プリント提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○学習プリント提出(授業中の取組や家庭での復習状況) ○授業態度(意欲的な態度、発表内容) ○課題提出(ワーク作業や長期休業中の課題など) ○定期考査(考査範囲の適切かつ計画的な学習成果)
--------------	--

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
日本史探究	2単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	日本史探究 詳説日本史 (山川出版社)	副教材	新詳日本史(浜島書店)
-----	------------------------	-----	-------------

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	第3部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	・近世の政治・社会の展開を多面的・多角的に考察し、幕藩体制の確立や変化、近世の社会・文化の特色を理解する。
2 学期	第4部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	・近現代の政治・社会の展開を多面的・多角的に考察し、近代国家の成立や諸外国との関係やその変容について理解する。
3 学期	第18章 激動する世界と日本	・2年次からの学習を総括し、現代日本の課題形成に関する歴史について多面的・多角的に考察・理解して表現する。
備 考 (学習のポイント)	1 教科書をしっかり読み、ページ下の(注)の文章にも注意しよう。 2 教科書に掲載されている図版や史料などにも目を通しておこう。 3 語句や人名を単に覚えるのではなく、歴史の流れのなかで理解しよう。 4 人名や事項を正確な漢字で書けるようにしておこう。 5 テレビや本・雑誌・新聞で歴史的なものに注意しておき、率先して見たり読んだりしよう。	

評価 規 準	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。
	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めている。

定期 考 査 実 施 予 定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業態度(まじめな態度、発表内容) ○課題提出(長期休業中の課題など) ○定期考査(計画的な学習計画と成果)
--------------	---

公 民

科目名	単位数	学 科	学 年
政治・経済	3単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）	副教材	
-----	-------------------	-----	--

科目の目標	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 第3節 市場経済の機能と限界 第2章 現代日本の諸課題の探究	・民主政治の本質を把握し、政治と私たちとの関わりについて理解する。
2 学 期	第1章 現代日本の政治・経済 第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 第4節 国際経済において求められる日本の役割 第2章 国際社会の諸課題の探究	・現代経済の特質について理解する。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。
3 学 期	演習	・現代社会の諸課題について、望ましい解決のあり方を考える。

備 考 （ 学 習 の ポ イ ン ト ）	1 教科書をよく読み、図版（グラフ・表・写真等）も読み取る力を身に付けよう。 2 新聞、ニュース等で、政治・経済の動向に関心を持とう。 3 毎時、政治・経済ノートで、授業で学習した用語の理解を確認するなど復習をしよう。 4 積極的に問題演習にも取り組み、自主的に受験対策を進めていこう。
---	--

評 価 規 準	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	思考・判断・表現	現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度（真面目な態度、積極的な発表） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○ 定期考査（適切で計画的な学習の成果）
---------	--

数 学

科目名	単位数	学 科	学 年
数学Ⅱ	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）	副教材	基本と演習テーマ 数学Ⅱ（数研出版）
-----	--------------	-----	--------------------

科目の目標	三角関数、指数関数と対数関数および微分法、積分法について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第3章 図形と方程式 軌跡と領域 第4章 三角関数 三角関数 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式と領域の関係を理解し、図示します。</li> <li>・角と三角比の値の関係を関数としてとらえます。</li> </ul>
2 学 期	第5章 指数関数と対数関数 指数関数 対数関数 第6章 微分法と積分法 微分係数と導関数 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数の範囲を広げたり、新しい関数を学習したりします。</li> <li>・関数の値の変化の様子を調べ、グラフをかいたり、方程式に応用します。</li> </ul>
3 学 期	第6章 微分法と積分法 微分法 積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の面積や体積を求める。</li> </ul>

備 考  <small>学習のポイント</small>	<p>1 第4章は、数学Ⅰで学習した三角比の内容を拡張し、三角比の値を関数として扱います。練習を積んで、新しい角の定義に慣れましょう。</p> <p>2 第5章は、中学校で学習した指数法則を発展させた内容になります。基本内容をしっかり復習しておきましょう</p> <p>3 第6章（微分法）は、微分係数の意味を理解し、増減表やグラフを正確に作成できるようにしましょう。</p> <p>4 第6章（積分法）は、微分法の反対の作業となります。微分の内容をしっかり理解しておくことがポイントとなります。</p>
--------------------------------------	--

評 価 規 準	知識・技能	基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解している。
	思考・判断・表現	式、図、表、グラフ等を用いて、様々な課題を数学的に捉え、数学的論拠に基づいて事象を的確に判断・表現し、考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、問題解決において積極的に数学を活用している。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	<p>定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認）</li> <li>○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表）</li> <li>○ 小テスト（単元毎の小テストなど）</li> <li>○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）</li> </ul>
---------	---

## 理 科

科目名	単位数	学科	学年
理科探究	2単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	野村高校 理科探究(野村高校理科)	副教材	プリント
-----	-------------------	-----	------

科目の目標	生物や生命現象、生活の中に隠れた物質の性質や変化などについて理解し、生物や化学分野における科学的思考力を高める。また、観察・実験を行い、実験技能を習得してその結果を考察する能力を育む。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	生物の特徴(生物の多様性と共通性、生物とエネルギー) 遺伝子とその働き (遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質の合成) 科学と人間生活(物質の成分と構成元素) 物質の構成(原子の構造と元素の周期表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の特徴や遺伝子の働きを理解する。</li> <li>原子の構造・性質について理解する。</li> </ul>
2 学 期	ヒトのからだの調節(体内環境、体内環境の維持のしくみ、免疫) 物質の構成(化学結合) 物質の変化(物質と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境と恒常性について学ぶ。</li> <li>酸、塩基とその量的関係を理解する。</li> <li>酸化・還元反応と量的関係を理解する。</li> </ul>
3 学 期	生物の多様性と生態系 (植生と遷移、バイオーム、生態系のバランスと保全)	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候とバイオームについて学ぶ。</li> </ul>
備 考 ( 習 得 の ポ イ ン ト)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物の特徴を知り、生物のからだや取り巻く環境について理解しよう。</li> <li>2 化学物質や化学反応を知り、身の回りの現象を化学的思考で説明できるようにしよう。</li> <li>3 簡単な実験を通して、様々な現象や物質の性質を理解しよう。</li> <li>4 写真や表、図などから、身近な自然について考え、これからの自分たちに何ができるか考えてみよう。</li> </ol>	

評 価 の 観 点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を理解し、正しい知識で生命現象や化学的現象を説明することができるか。</li> <li>実験や観察を、正しい手順で素早く行い、まとめているか。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的知識のもとに、現象理解を自分の言葉で表現し、発言しているか。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学に興味を持ち、学んだことを積極的に日常生活に結び付けようとしているか。</li> </ul>

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、レポート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ プリント提出(予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度(まじめな態度、積極的な発表) ○ レポート提出(実験内容の確認) ○ 課題提出
---------	---



保健体育

科目名	単位数	学科	学年
体育	3単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	最新高等保健体育(大修館)	副教材	イラストでみる最新スポーツルール(大修館)
-----	---------------	-----	-----------------------

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを旨とする。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	体づくり運動(通年) 集団行動 新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】【女子】(ソフトボール・バレーボール・ソフトテニス) 体育理論(生涯スポーツの見方・考え方) (ライフステージに応じたスポーツ)	・自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立てる。 ・ペースの変化に対応するなどして走る。
2 学期	球技Ⅱ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】【女子】(サッカー・バスケットボール・バドミントン) 陸上競技 [中・長距離走] 校内マラソン大会【男子】8km【女子】4km 体育理論(日本のスポーツ振興)	・作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
3 学期	球技Ⅲ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】【女子】(バスケットボール・バレーボール・卓球) 体育理論(スポーツと環境)	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。
備 考 (学習のポイント)	1 自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 2 集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。(5分前行動) 3 互いに協力して自己責任を果たそう。	

評価規準	知識・技術	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための倫理について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。
	思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度・意欲(授業の参加状況、意欲的でまじめな態度) ○ 運動の技能(各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度) ○ 体育理論の理解度(理解度の確認テスト)
------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
音楽Ⅱ	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	音楽Ⅱ Tutti plus（教育出版）	副教材	
-----	----------------------	-----	--

科目の目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	歌唱表現 日本歌曲 ドイツ歌曲  創作表現 動機を用いた旋律づくり 鑑賞 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が美しく聞こえる表現方法を工夫して歌う。</li> <li>・ドイツ語の意味が伝わりやすいような発音を自分なりに工夫してドイツ歌曲を歌う。</li> <li>・創意工夫のある旋律を創作する。</li> <li>・ミュージカルの魅力を後輩に伝える。</li> </ul>
2 学 期	器楽表現 ギター 歌唱表現 イタリア歌曲  鑑賞 日本の音楽 世界のさまざまな音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターだけで合奏をする。</li> <li>・イタリア語の意味が伝わりやすいような発音を自分なりに工夫してイタリア歌曲を歌う。</li> <li>・日本や世界の音楽について理解を深める。</li> </ul>
3 学 期	器楽表現 アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで選曲や編成などを考えて、アンサンブルをする。</li> </ul>
備 考  <small>学習のねらい</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表現に必要な技能を身に付けるために、根気強く練習に取り組もう。</li> <li>2 他者と積極的に意見を共有したりアンサンブルしたりしよう。</li> <li>3 日ごろからさまざまな音楽と親しもう。</li> </ol>	

評 価 規 準	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付ける。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定					

評 価 方 法	<p>実技テストや小テスト、ワークシートの記述内容、授業態度などを総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実技テスト</li> <li>○小テスト</li> <li>○ワークシートの記述内容</li> <li>○授業態度（授業態度、積極性、発表会、練習態度）</li> </ul>
---------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
美術Ⅱ	2単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	美術2(光村図書)	副教材	
-----	-----------	-----	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	工芸 日常生活のデザイン デザイン 箸置きデザインと制作 アイデアスケッチ、原型制作 シリコンゴムの型どりと錫合金の鑄込み 仕上げ、刻印打刻 鑑賞 作品の相互鑑賞	・使う、遊ぶデザインの理解。 ・道具の正しい扱い方を理解する。
2 学 期	工芸 指輪の制作、銀の板を切る、刻印を打つ、 パーナーでロウ付け、やすりで整形、 サンドペーパーで磨く。	・卒業の記念になるものを自分で作る。 ・身に付けるデザインを理解する。
3 学 期	デザイン 指輪の箱制作 パッケージデザイン 名前を入れたデザインの箔押し	・3年間の総決算としての制作を意識する。
備 考 (習 得 の ポ イ ン ト)	1 様々な表現方法を学び、技術を身に付けよう。 2 自分の思いを表現しよう。 3 作品の良さを発見し言葉にして伝えよう。	

評 価 規 準	知識・技能	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。

定期 考 査 実 施 予 定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
----------------------------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業プリントの提出(授業内容の理解の確認) … Ⅰ・Ⅱの観点 ○授業態度(真面目な態度、積極的な発表など) … Ⅲの観点 ○課題提出(日常の課題及び長期休業中の課題) … Ⅱ・Ⅲの観点 ○鑑賞プリントの提出 … Ⅱ・Ⅲの観点
------------------	--

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
英語コミュニケーションⅡ	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	Vivid English CommunicationⅡ（第一学習社）	副教材	Word Navi 3000（啓林館）
-----	-------------------------------------	-----	---------------------

科目の目標	<p>聞いたり読んだりしたことの概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う。</p> <p>論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる。</p>
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson 6 A Society with Drones Lesson 7 “Cloning” Cultural Properties	・分詞構文（現在分詞）、「推量」を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、関係代名詞など
2 学 期	Lesson 8 Peace Messages from Hiroshima Lesson 9 Invigorating Our Local Community Lesson 10 The Underside of Wildlife Tourism	・倒置、原形不定詞・分詞、同格のthat省略、完了不定詞、仮定法など
3 学 期	Optional Lesson 2 Information Please	・「インフォメーション・プリーズ（番号案内お願いします）」の読み物から学ぶ。
備 考  （ 学 習 の ポ イ ン ト ）	<p>1 教科書の内容が理解できる。</p> <p>2 各レッスンで示された表現を使い、身の回りのことを英語で表現できる。</p> <p>3 辞書やノートを繰り返し活用して、英語で考えることができる。</p>	

評 価 の 観 点	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定 期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	<p>定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <p>○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認）</p> <p>○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク）</p> <p>○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）</p> <p>○ 小テスト</p>
---------	--

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
論理・表現Ⅲ	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	My Way ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION III（三省堂）	副教材	LERNERS' ラーナーズ高校英語
-----	--	-----	--------------------

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、自分の意見などを多様な観点から考察し、表現の仕方を工夫しながら話したり書いたり表現する能力を伸ばす。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson 1 Survey Results Lesson 2 Writing an Email Lesson 3 Writing a Blog Lesson 4 Describing Activities Lesson 5 Suggesting What to Buy	動詞の種類 時制 助動詞 不定詞・動名詞 分詞・分詞構文
2 学 期	Lesson 6 Making a Proposal Lesson 7 Making a Speech Lesson 8 Writing an Invitation Lesson 9 Suggesting a Solution Lesson 10 Talking about the Future	比較 関係詞 仮定法 名詞・代名詞 前置詞・接続詞
3 学 期	Situation 1 At the Airport Situation 3 Gifts from Japan Situation 10 At a Café	入国審査について 文化の説明について 地域・社会について
備 考 (学習のポイント)	1 各レッスンの学習項目について自分の意見を英語で表現する。 2 英語を用いた発表や話し合いを通して、英語学習の楽しさを学ぶ。	

評 価 規 準	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学年末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペア・グループワーク） ○ 小テスト（単語）
---------	---

商 業

科目名	単位数	学 科	学 年
ビジネス・コミュニケーション	3単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	ビジネス・コミュニケーション (東京法令出版)	副教材	ビジネス・コミュニケーションワークブック (東京法令出版)
-----	----------------------------	-----	----------------------------------

科目の目標	ビジネスに必要なコミュニケーションに関する知識と技術を習得させ、グローバル化する経済社会の一員として、コミュニケーションを主体的かつ協働的に行う能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 ビジネスとコミュニケーション 第2章 ビジネスマナー 第3章 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション  全商ビジネス計算実務検定試験（6月） 全商ビジネス文書実務検定試験（6月）希望者・希望級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにおけるコミュニケーションの概要について学び、倫理観や人的ネットワーク、協働の重要性を理解する。</li> <li>・ビジネスマナーの基本的な知識を理解する。</li> </ul>
2 学 期	第3章 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション 第4章 ビジネスと外国語 全商情報処理検定試験（9月）希望者・希望級 全商ビジネス文書実務検定試験（11月）希望者・希望級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の海外進出の現状と課題について把握し、ビジネスにおける外国語の重要性や文化と商習慣について理解する。</li> </ul>
3 学 期	第4章 ビジネスと外国語 第4節 ビジネスにおけるプレゼンテーション  全商情報処理検定試験（1月）希望者・希望級 全商協会商業経済検定ビジネス・マネジメント2級（2月）希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールや外国人に対するプレゼンテーションについて基本的な知識を理解する。</li> <li>・資格取得に向けて主体的に取り組む。</li> </ul>
備 考  (学習のポイント)	1 ビジネスマナーは普通の生活に密接に関係しています。他人事ではなく自分のこととして捉え、実践できるように学習にしていきましょう。 2 新しい単元の前には教科書をきちんと読み、予習をしておきましょう。 3 日頃からニュースに関心を持ち、経済社会の変化に対応する力を養おう。	

評 価 規 準	知識・技術	ビジネスにおけるコミュニケーションの基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、コミュニケーションの意義や役割を理解するとともに、その技術を適切に活用している。
	思考・判断・表現	基礎的・基本的な知識と技術を活用して、ビジネスにおけるコミュニケーションの活動における諸問題を、適切に判断し解決に向けて考えることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスにおけるコミュニケーションについて関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	/	○	/	○	○

評 価 方 法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度 ○ 課題提出 ○ 重要用語確認テスト
---------	--

商 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
マーケティング	2 単位	普通科	3 年

教 科 書	マーケティング (実教出版)	副 教 材	マーケティング 準拠問題集 (実教出版)
-------	----------------	-------	----------------------

科目の目標	マーケティングに関する知識と技術を習得させ、マーケティングの意義や役割、面白さと奥深さについて理解させるとともに、マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1章 マーケティングの概要 2章 消費者行動の理解 3章 市場調査 4章 STP 5章 製品政策 6章 価格政策 7章 チャネル政策	・ マーケティングの概要、消費者行動の特徴、市場調査の意味、STP、製品政策、価格政策、チャネル政策を理解する。
2 学 期	7章 チャネル政策 8章 プロモーション政策 9章 マーケティングのひろがり  【全商商業経済検定試験問題演習】	・ チャネル政策、プロモーション政策を理解する ・ マーケティングのひろがりについて理解する。
3 学 期	9章 マーケティングのひろがり  【全商商業経済検定試験問題演習】 全商協会商業経済検定マーケティング2級 (2月)	・ マーケティングについての知識や技能の定着を図る。 ・ 資格取得に向けて主体的に取り組む。

備 考  (学習のポイント)	1 商品はなぜ売れるのか、どうすれば売れるのか、消費者は商品を購入する時にどんな考えで行動しているかなど、消費者の立場と販売する立場から考えよう。 2 教科書だけでなく、身近な場所に教材はたくさんあります。日頃からマーケティング活動に注目してみよう。
-------------------------	--

評 価 規 準	知識・技術	マーケティングに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、意義や役割を理解するとともに、合理的にその技術を適切に活用している。
	思考・判断・表現	マーケティング活動との関連を的確に把握し、自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用できている。
	主体的に学習に取り組む態度	マーケティングについて関心を持ち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組んでいる。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	/	○	/	○	○

評 価 方 法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度 ○ 課題提出 (日々の課題及び長期休業中の課題) ○ 検定試験 (マーケティング2級)
---------	---

商 業

科目名	単位数	学 科	学 年
ビジネス法規	2 単位	普通科	3 年

教科書	ビジネス法規 (実教出版)	副教材	ビジネス法規 準拠問題集 (実教出版)
-----	---------------	-----	---------------------

科目の目標	ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 法の概念 第2章 権利・義務と財産権 第3章 財産権の変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法を学ぶための基本的なことがらを理解する。</li> <li>・権利・義務の意義や関係を学習し、財産権とその変動に関する基礎的な知識を理解する。</li> </ul>
2 学 期	第4章 企業活動と法規 第5章 企業責任と法規 第6章 紛争の解決と予防 第7章 税と法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動の特徴や機関について基礎的な知識を理解する。</li> <li>・法令遵守、説明責任や保護の重要性を理解する。</li> <li>・紛争の解決と予防、税に関する基本的な知識を理解する。</li> </ul>
3 学 期	第7章 税と法規  全商商業経済検定試験ビジネス法規2級 (2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税に関する基本的な知識を理解する。</li> <li>・資格取得に向けて主体的に取り組む。</li> </ul>
備 考  (学習のポイント)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法は生活に密接に関係しています。事例を他人事ではなく自分のこととして捉え、実践に生かせる学習にしていきましょう。</li> <li>2 新しい単元の前には教科書をきちんと読み、予習をしておきましょう。</li> <li>3 ニュースに日頃から関心を持ち、法律的視点を養おう。</li> </ol>	

評 価 規 準	知識・技術	経済社会における法の基礎的・基本的な知識を身に付け、法の意義や役割について理解するとともに、身近なニュースを通して、何の法律によってどのように扱われるのかを条文とあわせて具体的に捉えることができている。
	思考・判断・表現	法に関する基礎的・基本的な知識を活用して、適切に判断し、法律的観点に基づいて正しい解釈ができている。
	主体的に学習に取り組む態度	法について興味・関心を持ち、その知識や法律的な考え方の習得を目指して意欲的に取り組む姿勢が見られる。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	/	○	/	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 <input type="checkbox"/> 授業態度 <input type="checkbox"/> 課題提出 <input type="checkbox"/> 重要用語確認テスト <input type="checkbox"/> 発表 (時事問題、教科書章末問題解説、事例説明などの準備・態度等)
------	---



商 業

科目名	単位数	学 科	学 年
財務会計Ⅰ	5単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	財務会計Ⅰ（東京法令出版）	副教材	完全段階式標準簿記問題集会計（東京法令出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集1級会計（実教出版）
-----	---------------	-----	---

科目の目標	財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第Ⅰ編 財務会計の概要 1 企業会計と財務会計      2 財務諸表の構成要素 3 会計法規と会計基準      4 財務諸表の様式・区分表示 第Ⅱ編 会計処理 1 資産の分類と評価 2 負債の意味・分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計の目的や前提を学ぶとともに、株式会社をとりまく法規や制度の特徴を理解する。</li> <li>・勘定科目ごとに意味や分類、評価の基準や会計処理を理解する。</li> </ul>
2 学 期	3 株式会社      4 純資産の意味・分類 5 収益・費用の認識と測定 6 税      7 外貨建取引 第Ⅲ編 財務諸表の作成 1 貸借対照表 2 株主資本等変動計算書 3 損益計算書 第Ⅳ編 財務諸表分析の基礎 1 財務諸表分析の意義・方法 第Ⅴ章 連結会計 1 連結財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、それぞれの財務諸表の作成方法を、理解し、作成技術を習得する。</li> <li>・財務諸表分析の意義と計算方法を理解する。</li> <li>・連結財務諸表の目的と作成する基礎的な技術を習得する。</li> </ul>
3 学 期	全商簿記検定1級会計受験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得に向けて主体的に取り組む。</li> </ul>
備 考  (学習のポイント)	1 予習よりも復習に重点を置いて、理解できるまで同じ問題を何回も解こう。 2 財務諸表分析を通して、計数的に企業の状態の良否の判断ができるようになる。 3 法や制度について、意義や役割をきちんと理解しよう。	

評 価 規 準	知識・技術	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身に付いている。
	思考・判断・表現	財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力および財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力が身に付いている。
	主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指してみずから財務会計について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任を持って取り組む態度が身に付いている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題（問題集・プリント）の解答状況      ○ 授業態度 ○ 課題提出（日々の課題及び長期休業中の課題）      ○ 資格取得
------	---

家 庭

科目名	単位数	学科	学年
フードデザイン	3単位	普通科	3年

教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)	副教材	
-----	-------------------------------------	-----	--

科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第5章 各国料理とコーディネート 第6章 食育と食育推進活動 第1章 健康と食生活 第6章 食育と食育推進活動 夏季休業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や環境作りの技術を身に付ける。</li> <li>・郷土料理など、日本の食文化について知り、継承の担い手としての意識をもつことができる。</li> <li>・食することは生きるため以外に、さまざまな役割があることを理解する。</li> <li>・日本の食料自給率の現状と問題点、食品ロスの影響を理解し、自分や社会が取り組むべき問題について考える。</li> </ul>
2 学 期	夏季休業課題（発表会・実習） 第3章 食品の選択と取り扱い 第4章 調理してみよう 第2章 栄養素と食品 冬季休業中課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになる。</li> <li>・調理にはさまざまな機能があることを理解する。</li> <li>・自分に必要な栄養素や食品について考える。</li> </ul>
3 学 期	冬季休業中課題（発表会） 第5章 各国料理とコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各様式に適した献立作成や供給に伴うマナーやサービスの技術を身に付ける。</li> </ul>
備 考 <small>学習の振り返り</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて理解するとともに、関連する技術を身に付けよう。</li> <li>・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を解決する力を身に付けよう。</li> <li>・食生活の総合的なデザインと食育の推進に取り組む態度を養おう。</li> </ul>	

評 価 規 準	知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、提出物（課題、プリント）、授業の取り組みの様子などを総合的に評価する。 ○ プリント提出（整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ 小テスト（単元ごとの確認テストなど） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
---------	---

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
器楽	2単位	普通科（Ⅱ型）	3年

教科書	改訂 音楽通論（教育芸術社）	副教材	
-----	----------------	-----	--

科目の目標	器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を身に付ける。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	鍵盤楽器 ピアノ 弦楽器 ギター	・両手で旋律を弾き、連弾ができるようになる。 ・ギターでさまざまな奏法ができるようになる。
2 学 期	管楽器 リコーダー 打楽器 打楽器アンサンブル	・リコーダー4重奏ができるようになる。 ・打楽器アンサンブルを通してリズム感を身に付ける。
3 学 期	アンサンブル	・自分たちで選曲や編成などを考え、アンサンブルを行う。
備 考 <small>（参考）</small>	1 表現に必要な技能を身に付けるために、根気強く練習に取り組もう。 2 他者と積極的に意見を共有したりアンサンブルしたりしよう。 3 日ごろからさまざまな音楽と親しもう。	

評 価 規 準	知識・技能	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
	思考・判断・表現	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	実技テストや小テスト、ワークシートの記述内容、授業態度などを総合的に評価する。 ○実技テスト ○小テスト ○ワークシートの記述内容 ○授業態度（授業態度、積極性、発表会、練習態度）
---------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
クラフトデザイン	2単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	製本の仕方(野村高校)	副教材	
-----	-------------	-----	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目		学 習 の ね ら い
1 学 期	工芸 様々な製本の仕方 和綴じでテキスト制作 紙の目について 折丁に目引き、綴じ機を使った綴じ 本体の制作 デザイン 見返し用紙のデザイン 工芸 表紙の制作と合体 鑑賞 作品の相互鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決するデザインとしての本の仕組みの理解。</li> <li>・紙の種類、道具、材料の使い方。</li> <li>・物ができるまでのすべての工程を最初から最後まで一人で行い、完成させる達成感を味わう。</li> </ul>
2 学 期	工芸 帳簿製本 書くための製本とは 制作内容は1学期と同様で、途中が違うだけ 鑑賞 作品の相互鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記に同じ。</li> </ul>
3 学 期	デザイン 表紙への箔入れ デザイン 鑑賞 作品の相互鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業制作としての制作であること、使い方などについて考える。</li> </ul>
習 得 の ポ イ ン ト	1 様々な製本方法を学び、技術を身に付けよう。 2 自分の思いを表現しよう。 3 作品の良さを発見し言葉にして伝えよう。		

評 価 規 準	知識・技能	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	主体的に学習に取り組む態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	<p>学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。</p> <p>作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業プリントの提出(授業内容の理解の確認) … Ⅰ・Ⅱ の観点</li> <li>○授業態度(真面目な態度、積極的な発表など) … Ⅲ の観点</li> <li>○課題提出(日常の課題及び長期休業中の課題) … Ⅱ・Ⅲ の観点</li> <li>○鑑賞プリントの提出 … Ⅱ・Ⅲ の観点</li> </ul>
---------	--

総 合

科目名	単位数	学科	学年
社会人基礎	1単位	普通科(Ⅱ型)	3年

教科書	各種プリント(校内作成)	副教材	社会人基礎を学ぶにあたって(野村高校)
-----	--------------	-----	---------------------

科目の目標	<p>1 将来、社会人・職業人として、適切な社会生活・職業生活を送るために、必要な能力・態度の基礎基本について理解するとともに、実践できる能力や態度、望ましい勤労観、就労観を養う。</p> <p>2 時代や環境が変化しても、人と人が出会い、関わっていくときには基本的なマナーが常に求められていることを理解し、実践できる能力や態度を養う。</p>
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	<p>1 職業探究</p> <p>2 社会人講話</p> <p>3 入社試験の内容</p> <p>4 全商ビジネスコミュニケーション検定試験</p> <p>5 仕事の基本心得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめ、適性や特徴を理解する。</li> <li>・検定問題によりビジネス文書の作成方法を理解する。</li> </ul>
2 学 期	<p>(実践面接)</p> <p>6 仕事の手順</p> <p>7 命令と報告</p> <p>8 電話の応対</p> <p>9 来客対応の基本 (ライフプランニング講話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナーや一般常識について理解し、場面や状況に応じて正しく使い分ける判断力を身に付ける。</li> </ul>
3 学 期	<p>10 会議の基本知識</p> <p>11 文書の基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として求められる基本的な知識を身に付ける。</li> </ul>
備 考 (学習のポイント)	<p>1 社会人になるために必要な知識や技能とはなにか考え、学習しましょう。</p> <p>2 ビジネスにおける基本的なマナーや、基礎的なコミュニケーションの方法、必要な情報の入手と活用について学習し、生活に活かしましょう。</p> <p>3 将来を見据えたライフプランを各自が意識しながら学習しましょう。</p> <p>※この科目は、考査を実施しません。</p>	

評 価 規 準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択の方法や、自己の適性の把握方法を理解している。</li> <li>・ビジネスマナーについて基本的な内容を理解している。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解したビジネスマナーを状況や場面において適切に使い分けられることができる。</li> <li>・将来を見据えたライフプランを考えることができる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択や将来のライフプランなどについて、様々な情報をもとに主体的に考え、授業に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	<p>授業態度や小テスト課題の提出状況等を総合的に評価する。</p> <p>○ 授業態度                      ○ 小テスト</p> <p>○ レポート課題提出</p>
---------	--